

企画展

書言は五言



30
センチの

エスプリ

2019
1/4(金)~2/3(日)

開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時半まで)
 休館日 月曜日(但し、1月14日(月・祝)は開館、翌15日(火)は休館)
 観覧料 一般1,200円・高大生700円・小中生500円
 ※20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引
 ※土曜日は小中高生入館無料

主催 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・毎日新聞社
 後援 一般財団法人 毎日書道会
 協力 名古屋市交通局

徳川美術館
 THE TOKUGAWA ART MUSEUM
 TEL (052)935-6262

蓬左文庫
 HOSA LIBRARY CITY OF NAGOYA
 TEL (052)935-2173

Calligraphy Speaks - The Wit and Charm of the 30 cm Poem Paper

書は語る

30センチのエスプリ

懐紙は、その名の通り本来は懐よとぎに入れて手口を拭ったり、メモを書いたりするための携帯用の紙でしたが、10世紀頃からはさらに自詠の和歌を記すために用いられてきました。その大きさは身分や時代によって多少異なりますが、おおよそ縦30〜35センチ、横40〜50センチです。懐紙を縦に八等分したものが短冊で、14世紀頃から登場します。

天皇や公家、武家をはじめ、松尾芭蕉や池大雅、さらに夏目漱石や正岡子規など近代文学を代表する文化人まで、懐紙や短冊に染筆された書を通じて、歴史を彩った人々の人物像を探求します。



短冊手鑑 徳川美術館蔵



【展覧会関連企画】
特別展示 東海毎日新春書展
 会期 2019年1月4日(金)〜20日(日)
 会場 徳川美術館 本館
 入館者見字自由(入館料別途要)

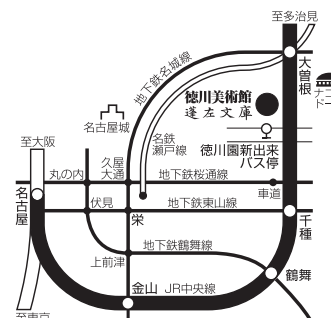
新春揮毫
 毎日書道会評議員 加藤 裕氏
 2019年1月4日(金) 14時
 入館者見字自由(入館料別途要)

ギャラリートーク
 1月12日(土) 13時
 入館者参加自由(入館料別途要)

1月19日(土) 13時30分〜15時
土曜講座「書スタイル」 懐紙・短冊・色紙の遺墨を通して
 徳川美術館 学芸部長 四辻 秀紀
 600円(入館料別途要)

【徳川園催事】
 2019年
 1月2日(水)〜2月17日(日)
 寒を遊ぶ 徳川園の冬牡丹

【次回予告】
 2019年
 2月9日(土)〜4月7日(日)
特別展
 尾張徳川家の雛まつり
企画展
 ひなを樂しむ
 旧家のひな飾り



- 基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
- メーグル「徳川園・徳川美術館・逢左文庫」下車
- JR中央線「大曽根駅」下車 南口より徒歩10分

〒461-0023 名古屋市東区徳川町



産業観光 ナゴヤ